

北邊振興河川事業概貌

※ 八 十 八 谷 生

は し が き

吾が國防國家建設のため北邊國境接隣地域の民生を振興し、以つて兵站基地の培養を圖るべく本年六月樹立せられたるは三大國策の一即ち北邊振興政策である事は熟知の處なり。

本政策に基き東安、北安の兩省新設定既設省内の行政機構改革を行ひ依つて以つて繁活なる各種開發事業の早急着手に依り北邊の股脈驚異的のものあり。従つて諸建設事業の基礎的要素たる、土木事業にありては、道路に、鐵道に、飛行場に、都邑に、將又河川にと、未曾有の盛況を見るに到り、時代の風潮たる人的、物的の不足制限等に惱まされ乍ら、萬難を排して障害克服以つて國策遂行の原動力たるべき實を擧げつゝあり。之等各種尨大なる土木事業中筆者は此處に其關係する處の各河川事業の概貌を提示し、會員諸賢の認識を期待するものである。

事業の大要

本事業は大別して治水的見地よりする國境附近河川水路の開發と、特殊都市の水災對策の二となす。

此の中水路開發部門としては、松花江水路の改修、穆稜河及凱湖附近の水路開發、遜畢拉河及附近河川水路開發調査の三にして、特殊都市の水災對策としては、孫吳、海拉爾、琿春、土門子の四都市防水事業なり。以下之等事業の大要を述べんとす。

一、松花江水路の改修事業

イ、現 況

松花江は古來北滿の動脈的幹線通路として江上の水運誠に股脈を極む。併し乍ら其下流部特に三姓淺瀬より下流には、暗礁中洲到る處に散在し、常時航行船舶に不安、不便を與へつゝあり且つ減水期にありては吃水極度に制限せられ、遂には航行困難に陥る。依つて三姓淺瀬の外、來密、富錦、新城鎮の三淺瀬を速に浚渫し、之を除去、以つて航路を安定せしむるを要するの現況にあり。

ロ、方 針

松花江水路の現況前述の如くなるを以つて大量物資の輸送路確保のため、所在の水路障害を除き、減水期と雖も最大一、二〇〇噸の船舶航行可能ならしめ、哈爾濱、同江間の主要航路全線の安全を期し、産業開發に寄與せしむると共に、有事の際に於ても遺憾なからしめんとす。之がため浚渫及水制工事の如き低水工事を實施し、康徳六年乃至康徳八年の三ヶ年繼續事業として、之を完成せしむ。

ハ、事業費

本事業の實施に要する費用は大約六十五萬圓なり。

ニ、實施現況

康德六年度は工期半ヶ年なるを以つて、淺瀬浚渫及び水制築造の準備に充て、主として工作船の製作及材料の集積を行ひつゝあり。

尙本事業は主として、航務局の障害を以つて實施す。

二、穆稜河及興凱湖附近水路開發事業

イ、方針

荒廢原始河川たる穆稜河の改修を兼ね流末氾濫濕地の征服と可航通路を整備すべき目的を以つて、密山下流の穆稜河筋に捷水路を、又本河と興凱湖間に展る低濕地貫く新水路を開鑿し、沿岸の内水排除水路を兼ねたる、航通路線を獲得し、土地開發に併せて大量物資の交流に備えんとす。

ロ、事業大要

事業の内容は別ちて次の三となす。

1. 河湖連絡水路

穆稜河筋小山附近より興凱湖沿岸に亘る低濕地に新なる連絡水路を設定して、排水幹線たらしむると共に、航路となし、虎頭、密山、東安附近より自由に興凱湖への出入可能ならしめんとす。尙本水路には流頭工として、閘門を設け、本流筋上下流の通航に支障なからしむ。

2. 現河道流路の整正

穆稜河の現河道を航通路として更生せしむるため、虎頭、密山間に於ける亂流、蛇行最も甚だしき荒廢部の改修を行ひ捷水路を開發し、通航を可能ならしめんとす。

3. 運河給水池

穆稜河上流に適地を揆定して、堰堤を築

設し、河水、を溜溜平均化して、渇水低水期の航運を助長す。

ハ、事業費

本事業は康德六年度より四ヶ年繼續事業とし、總額一千萬圓を計上せらる。

ニ、實施現況

本事業實施のため密山に治水工程處を新設し、處長以下約七〇名の第一次要員を以つて陣容を整へ、初年度たる康德六年度にありては、主として、調査及び器材の整備に全力を傾注し、一部の船舶冬營設備を實施す。

三、遜畢拉河及附近河川水路開發調査

イ、方針

遜畢拉河、法別拉河及托泥河の水路開發を圖るため所要の河川基本調査を實施し、事業の計畫及實施に備ふ。

ロ、調査要項

1. 基本調査
2. 河狀調査
3. 航路調査

ハ、調査現況

本調査は康德六年より三ヶ年繼續實施せられ、孫吳に河川調査事務所を新設し、所長以下拾數名の所員を以つて、専心調査の萬全を期しつゝあり。

四、孫吳都市防水事業

イ、現況

孫吳は最近數年間に軍事上の要地として發展し都市を形成せる地點なり。而して北黒線完成せるや、北安、黒河の中間に位し、附近荒蕪地の開拓と、日本青少年拓士の入植に依り誠に目覺しき躍進を遂げ都市計畫

事業の實施と相俟ち牡丹江にも比肩さるべき市街地の發展振りを示しつつあり。

されど本市街は荒廢河川遼畢拉河に臨み居るため歷年水災を受くる事甚だしく其躍進的都市建設の最大障害をなす。依つて此水災の除去を策せざれば、北邊開發の重地孫吳の存在晏如たり得ざるものなり。

ロ、計畫方針

都市計畫區域及軍事施設地域全般に亘り防水堤を設け遼畢拉河の氾濫を防止すると共に、市街地及堤内排水を目的とせる水路を開發し、市街發展の最大障害たる水災を除き民生の振興を圖らんとするものなり。

ハ、事業費

本事業は康徳六年より三ヶ年繼續事業とし總工費二百七拾五萬圓を計上さる。

ニ、實施現況

本事業は黒河省開拓廳建設科に於て實施する事とし基幹要員は交通部航路司より轉出せしめ、康徳六年度は調査に次いで計畫をなし、早急に着手すべく、目下直營を以つて右岸堤の築設を進められつつあり。

五、海拉爾都市防水事業

イ、現 況

伊敏河に臨める海拉爾市街は歷年同河の氾濫に禍され、特に康徳六年春期出水には、市街地全體に亘り、浸水し、被害極めて大なるものあり。

かくては海拉爾の有する軍事據點たるの特性を失ふのみならず、民生の振興特に市街の發展に齟齬を來す處少からず。故に本年度より實施せらるゝ都市計畫事業に併行して、伊敏河の氾濫を除き、市街發展地域の

の獲得を要望せらるゝの實狀にあり。

ロ、計畫方針

海拉爾都市計畫區域内にある伊敏河は蛇行亂流甚だしく、洪水の疏通流下極めて不良なれば、捷水路を開き流路を整正し河水流下の圓滑化を圖り、伊敏國道橋より下流鐵道橋間は兩岸に防水堤を設け將來の完成市街地内氾濫を防止し、併して堤内排水路と樋門を設け防水の完璧を期す。

ハ、事業費

康徳六年より三ヶ年繼續事業として、總工費約七十四萬圓を以つて着手せらる。

ニ、實施現況

本事業は興安北省開拓廳建設科の實施に屬し、基幹要員は交通部航路司より特派轉任せしめ、専心事業遂行に當らしめる事となし初年度たる康徳六年度は調査、計畫に主力を注ぎ、更に一部直營を以つて築堤を實施せられつつあり。

六、琿春都市防水事業

イ、現 況

琿春街は琿春平野の中央に位し、蘇滿國境の要衝に當り東滿第一の政治、交通、産業の中心地たると共に、軍事上の重要地たり。

然るに本市街は琿春河に臨み、歷年水災を蒙るも未だ之が對策を講ぜられず、ために邊境中樞地たるの機能を阻害せらるゝ處極めて多し。特に康徳五年七、八月の洪水の被害は言語に絶し、交通運輸の途絶すらあり、國境確保上よりするも誠に寒心すべき狀態にあり、此處に都市防水の極めて緊急事たるを認識せらる。

ロ、計畫方針

市街は琿春河本流激突水勢及背後より流出する車大人溝の暴水を前後より受け常時水災の脅威を受くるものなれば、車大人溝の流路切替を行ひ河敷を擴げ、左岸市街地寄りに防水堤を設く。而して本流筋は車大人溝防水堤に引き續き約七杆の延長に亘りて市街東側河岸に堅固なる築堤を設け其前面中、流路激突部には水制工及護岸工を施すものとす。

ハ、事業費

康徳六年より三ヶ年繼續事業とし、總額約七十二萬圓を以つて實施せらる。

ニ、實施現況

本事業は間島省開拓廳建設科の所管する處にして、基幹委員は交通部航路司より轉出専心事業に従事しあり、本年度は調査及計畫に併行して車大人溝築堤を施工されつゝあり。

七、土門子都市防水事業

イ、現況

市街は琿春河本流、土門子河、及び杜荒子河の三川合流點の河谷平地即ち河敷と見做さるゝ地域に發展せるものなり。されば毎年出水期となれば、常に之等三川の流路固定せざるため市街地内を亂流貫するが如き事珍らしからず、従つて水災を受くるは自明の理なり。併し乍ら本市街は蘇滿國境を指呼の間に控え、軍事上、屈指の重點たると共に近く東滿鐵道の開通と相俟ち、躍進一途を辿り、東滿砂金地帯の中樞地として、地方開發の據點たらんとしつゝあるを以つて、各種手段を講じ其水災除去すべく

要望されあり。

ロ、計畫方針

市街附近は前記の如く三川合流して、全河谷に亘り河敷を形成するものなるを以つて初づ市街北側に新水路を開鑿して、土門子河を上流に於て杜荒子河に合流せしめ、二河川を合して一となし、河谷西側山麓に導き、市街上流東方山麓より發して其北、西兩側を圍む防水堤に依り市街地内に亂流及氾濫せんとする在來河川を抑制し、杜荒子河を琿春河本流へ注がしむ。

ハ、事業費

康徳六年より三ヶ年繼續事業とし、工費約五十九萬圓を計上せらる。

ニ、實施現況

本事業は琿春都市防水事業と同様間島省開拓廳建設科の所管にして、基幹委員は同じく交通部航路司より轉出せしめ、初づ調査計畫を行ふと共に、既に市街北側の防水堤完成近く康徳七年解氷期出水には土門子河の市街貫流を除去すべき豫定なり。

結 尾

以上大略述べたる河川事業は云ふ迄もなく、僻遠疲弊地の振興工程先驅として實施せらるゝものなれば、最前線に出で、勤務に精勵する人々の勞苦は筆紙に盡せぬものがある。

此の點九月號本誌上に大石處長が現在レポルトとして「密山便り」を投稿せられ、國道建設事業に、たづさわなる人々の辛苦の一部を陳述して大方諸賢の認識を促された事と思はれるが、河川事業關係職員の勞苦全く同一以上のものがある。

周知の如く元來河川事業は、他の土木事業と

異り、恰も生物の如く作動して、變轉廻りなき河川を對象とするものなれば、比較的長期の基本調査と各種實況なる資料の整備に依り、漸く實施の域に達せらるゝものなり。然るに今般の振興事業たるや、早急に決定せられ、直ちに着手、短時日の間に完成を要求せらるゝもののみなり。従つて長期豊富なる調査資料等の望み得らるべくもあらずして、調査、計畫及び施行が殆んど時を同じゆうして行はれるが如き現況なり。

其上刻下の時代相たる人的、物的の抑制は、本事業遂行上の甚大なる障害たるは言を俟たざる處なり。特に従事職員の不足に到りては最も甚だしく、各都市防水事業の如きは何れも二乃至三名の基幹人員にて、調査に、計畫に將又施工にと、殆んど超人的八面六臂の努力を傾け只管事業完璧を期し居る實狀にして、吾等關係者の敬服おく能はざるものがある。而して外、此の如き獻身的努力を捧げ吏道の眞面目を發揮しつゝある之等職員に對する厚生方面を考ふる時は、誠に寒心に堪えぬものがある。勿論事業の本質に鑑み萬止むを得ざる事態と申さば夫迄乍ら、爲政者の一考を煩はし度き點少しとせぬ。

何處の事業地も家屋拂底と云はんよりも、全く住むべき家等全くなき状態なれば、共事務所の如きすら之が公務の辨事せらるゝ處と稱するには餘りにも怪げなるものにて、甚だしきは古倉庫を改造、雨露を凌ぎ居るに過ぎざる有様なり。されば従事職員の如きは合宿生活を餘儀なくせられ、水質不良栄養不足、生活の不自然等にて、著しく健康を害しながら醫療設備の缺除のため筆紙に盡せぬ苦痛に呻吟しあり、克つ事

務繁忙のため一日の休養も容易ならずと云ふが如き實狀なり。之に加へて、現地の物價は交通不便なる僻地の事とて、全く桁違ひとも云ふべき暴騰振りにて些少の津貼等にては補ひ得ざる事遠きものがある。

斯の如き精神的、物質的苦痛は此處に喋々論ずるとも、到底眞髓を盡し得られぬ程度のものにして、當路者の現地視察に依り、深く省察を期待するものである。筆者は理想論を述ぶるものでもなければ、亦新東亞建設に生命を抛つ日滿軍人の困苦を考へざるものにも非ず。許さるゝ範圍内にて、福祉施設の企畫、實施は相當の餘地あるものと思考する。

事業の實施、運営は入にあり。此原動力たる關係職員の健全なる生活と、精力的な心身保持は、本事業の完成への最短捷路なるべし。深く相當の厚生、福祉施設を以つて、本事業關係職員の優遇方を當局者に期待して止まぬものがある。

